

平和が大好き、憲法9条が大好き

2008年4月9日

第4号

生協労連

電話 03(3408)0067

qyg03057@nifty.com

生協労連・憲法闘争ニュース

伊藤千尋さん 熱く語る

憲法は守るものではなく

積極的に使うもの

生協労連第1回憲法闘争交流会に75人参加

生協労連は4月5～6日の2日間で、第1回憲法闘争交流会を開催、75人が参加しました。この集会は、昨年定期大会で確認した「憲法を守り、平和を創る3年闘争」の具体化として開催されました。

集会では、桑田委員長の主催者あいさつあと、コープ九条の会・神奈川の呼びかけ人を代表して、島田啓子さんがあいさつ。島田さんは、九条の会への結成に至る経過と活動



内容に触れた後、「かつてほど生協は平和運動をやらなくなりましたが、組合員の中では30の平和グループが活動をやっている。また、コープかながわ結成60周年

で平和宣言も出した。憲法が脅かされようとしているいま、労組のみなさんとも一緒にとりくんでいきたい」と、連帯のメッセージを寄せてくれました。また、一緒に参加した生



協組合員の日高桂子さんは、キルトで作成した「9条キルト」を紹介しま

した。

テロの標的は病院、医師、けが人、子ども…。

つづいて、ビデオレターということで、イラクの子どもたちを救う会（代表：西谷文和さん）が作成したDVD「イラク 戦場からの告発」を見ました。

参加者からは、「ビデオレターは目を背けたくなる悲惨な映像が記録されていたが、米軍が国際社会で何をやってきているのか多くの人に見てもらいたいと思う」などの感想が寄せられました。

憲法9条のある日本でこんなことが許せませんか

生協労連憲法闘争本部からの基調報告のあと、神奈川県原水協事務局長の永沢丈夫さんが「この異常さを正すのは、あなた」と題



して、横須賀の原子力空母の母港化問題と基地闘争について特別報告を行いました。

4月3日にタクシー運転手を殺害した米兵が逮捕されたことに触れ、米軍基地が存在する異常さ、とんでもない危険と共存させられている横須賀の実態を明らかにしました。

さらに、8月19日に配備が予定されている米原子力空母の配備問題では、美浜原子力発電所と同じ出力（120万kw）をもつ原子力空母（ジョージ・ワシントン）が首都圏の入り口に配備されること、事故が起これば首都圏3300万の内被爆者数は3～5割、死亡者数は175万人と想定されることなどを指摘しました。

また、横須賀での原子力空母の配備及び安全性を問うとりくみとして「住民投票条例を求める署名運動」に県内上げてとりくんでいることを紹介し、「この異常さを正すたか

は、国民一人ひとりのとりくみにかかっている」と述べ、日本から米軍基地をなくすとりくみ、8月の原水禁世界大会成功に向けて全力でとりくもうと呼びかけました。

自己主張が大事 自分でできることをやろう

初日の最後は、世界の65カ国取材した伊藤千尋さん（朝日新聞記者34年・「be」編集部）の「憲法の輝きを世界のすみずみに」と題しての講演でした。



冒頭、伊藤さんは、「他の国では、憲法はどのように思われているのか、国民はどのように憲法を使っているのかという観点でお話をしたい」と切り出しました。そして、「僕は、護憲という言葉は嫌い。憲法もサッカーと同じように守って



ては勝てない。攻めないと勝てない。憲法も使わないとみんなの役に立たない。世界を回ってそう思った」として、大西洋のカナリア諸島にある

島の「憲法9条の碑」の話をはじめとして、世界の人々がいかに憲法を積極的に使って、自由、人権、民主主義、そして「個人の平和」の獲得をめざしてたたかっているかを1時間半にわたって講演しました。

最後に、伊藤さんは「黙っていてもダメ。思っていることは声に出す。きちんと主張することが重要」と指摘し、「楽しい活動をすすめよう」と締めくくりました。

参加者からは、「世界各国での実体験の中で感じた、考えた『憲法』のその国の中での存在感に感銘した」「私たちも憲法は使わなければならない。そして、正しいことはいずれ多くの人々に理解される。そのためにも、言い続けなければならない。沈黙は罪だ」「個人の平和に対しておかしいと思ったら、おかしいという行動を起こすことだ。小学校の入学式で『人は誰でも愛されていないと思ったら、

訴えることができる』との言葉に感動すらおぼえた」「デモは楽しくアピールしよう。ピンクのピースは感動的でした」など、参加者に大きな感動と勇気、そしてこんごのとりくみへの大きなヒントを与えるものとなりました。

全国各地で、生協組合員と一緒に多彩な活動



二日目は、活動交流を行いました。みやぎ生協労組（憲法署名・九条の会のとりくみなど）、生協ひろしま労組（九条の会

のとりくみなど）、エフコープ生協労組（北九州戦跡めぐりのとりくみなど）、コープおきなわ労組（教科書、基地被害でのたたかいなど）、かながわ生協労組（米原潜母港化反対のたたかいなど）、いわて生協労組（日本の青空上映運動のとりくみなど）からスライドなどを使って報告。労組独自のとりくみとともに、生協組合員との共同も力強く報告されました。



海から横須賀米軍基地視察、キティホークも

最後に、神奈川県平和委員会の鈴木和広さんガイドで海上から米軍横須賀基地調査。数日前に帰港したキティホークも見るこ



ときました。参加者からは、「基地周辺の海域を



めぐることで、米軍基地の大きさが尋常でない規模だと実感できた。併

設する自衛隊基地を見れば誰が見ても日米一体となっていることが分かる。基地を見れば憲法第9条はどうなっているのかと思うのは私だけではないと思う」「私たちの税金を使って人々を殺す道具が沢山ある。海の上に浮かんでいるのを見たのですが、まだ実感がわきません」など、驚きと怒りの感想が寄せられました。

なお、交流会では横須賀住民投票条例運動カンパとして22,882円が集約されました（ありがとうございました）。